

# 平成30年3月期 第2四半期決算説明会

平成29年10月30日

株式会社 藤商事



東証JASDAQ上場

証券コード 6257

1. 第2四半期 決算概況	P.2
2. 第2四半期 決算ハイライト	P.4
3. 当社の取り組み	P.11
4. パチンコ・パチスロ市場の見通し	P.17
5. 平成30年3月期 通期業績計画	P.21
参考資料	P.27

# 1. 第2四半期 決算概況

# 第2四半期 決算概況



## 販売台数

パチンコ遊技機 50,300台 対前年同期比  $\Delta$ 12,600台

パチスロ遊技機 20,400台 対前年同期比 +20,400台

パチンコ・パチスロ「リング」シリーズで計45,900台を販売し、トータルで前年同期を上回る販売台数を確保

## 業績

売上高 295億53百万円

対前年同期比 +84億74百万円 40%増

経常利益 42億58百万円

対前年同期比 +30億68百万円 258%増

上半期の販売計画がおおむね順調に推移したことにより増収・増益

## 2. 第2四半期 決算ハイライト

## パチンコ遊技機

### 新本体枠 Crystal Air (クリスタルエア)



©SystemSoft Alpha Corporation

CR萌え萌え大戦争  
ぱちんこば〜ん  
(平成29年5月発売)



©藤商事

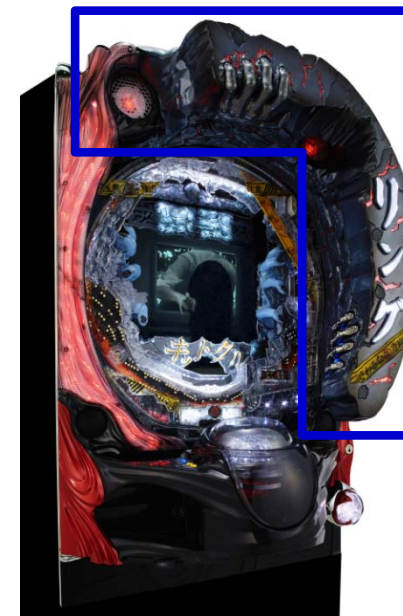
CRクルクルセブン  
(平成29年6月発売)



©1999 鈴木光司 発行・株式会社KADOKAWA 角川書店  
©1998「リング」「らせん」製作委員会  
©1999「リング2」製作委員会

CRリング 終焉ノ刻  
(平成29年6月発売)

### 新機能 サイドユニットシステム



専用  
サイド  
ユニット

機種ごとの「専用サイドユニット」を  
本体枠に装着可能  
インパクトあるギミックやアイキャッチで  
商品性を向上

# 決算ハイライト② 第2四半期累計期間 発売機種



## パチスロ遊技機

### 新筐体 Fusion Core (フュージョン コア)



©東映ビデオ株式会社/「呪怨」製作委員会/  
「呪怨2」製作委員会/DWANGO Co., Ltd.

**パチスロ 呪怨**  
(平成29年4月発売)



©1998「リング」「らせん」製作委員会

**パチスロ リング 終焉ノ刻**  
(平成29年5月発売)



©ESE/世界でいちばん強くなりたい!製作委員会

**パチスロ 世界で  
いちばん強くなりたい!**  
(平成29年7月発売)



©地獄少女プロジェクト/宵伽製作委員会

**パチスロ 地獄少女  
宵伽(よいのとき)**  
(平成29年8月発売)

### 新機能 分離筐体システム



胴部ユニット



下パネル



機種変更時  
に交換

機種変更の際に「胴部ユニット」と「下パネル」を交換可能なシステムを採用し、パチンコホール様の利便性を向上

# 決算ハイライト③ 販売台数



(販売台数は百台未満切捨て)

販売台数	平成29年3月期 第2四半期累計期間		平成30年3月期 第2四半期累計期間		対前年同期比
	販売台数	構成比	販売台数	構成比	
パチンコ遊技機	62,900台	100.0%	50,300台	71.1%	△12,600台
パチスロ遊技機	0台	0.0%	20,400台	28.9%	+20,400台
計	62,900台	100.0%	70,700台	100.0%	+7,800台

平成29年3月期 第2四半期累計期間	販売台数	平成30年3月期 第2四半期累計期間	販売台数
CR遠山の金さん 二人の遠山桜	20,400台	CR萌え萌え大戦争 ばちんこぼ〜ん	4,800台
CR仄暗い水の底から	17,800台	CRクルクルセブン	700台
CRピカレ! まるまるアイランド	2,800台	CRリング 終焉ノ刻	37,100台
CR戦国恋姫	2,100台	パチスロ 呪怨	3,200台
		パチスロ リング 終焉ノ刻	8,700台
		パチスロ 世界でいちばん強くなりたい!	2,200台
		パチスロ 地獄少女 宵伽	6,300台
その他	19,600台	その他	7,500台
合計	62,900台	合計	70,700台

# 決算ハイライト④ 損益計算書



(単位:百万円)

	平成29年3月期 第2四半期		平成30年3月期 第2四半期		構成比増減	備 考
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	21,078	100.0%	29,553	100.0%	—	◆売上高・各利益の増加 販売台数の増加 (対前年同期比 +7,800台)
売上原価	10,941	51.9%	15,857	53.7%	+1.7pt	
売上総利益	10,136	48.1%	13,696	46.3%	△1.7pt	
販管費	8,947	42.4%	9,522	32.2%	△10.2pt	
営業利益	1,189	5.6%	4,173	14.1%	+8.5pt	
営業外収益	101	0.5%	94	0.3%	△0.2pt	
営業外費用	100	0.5%	9	0.0%	△0.4pt	
経常利益	1,190	5.6%	4,258	14.4%	+8.8pt	
特別利益	0	0.0%	2	0.0%	—	
特別損失	18	0.1%	7	0.0%	△0.1pt	
税引前四半期純利益	1,171	5.6%	4,253	14.4%	+8.8pt	
法人税等	311	1.5%	1,547	5.2%	+3.8pt	
四半期純利益	860	4.1%	2,706	9.2%	+5.1pt	

# 決算ハイライト⑤ 貸借対照表



(単位:百万円)

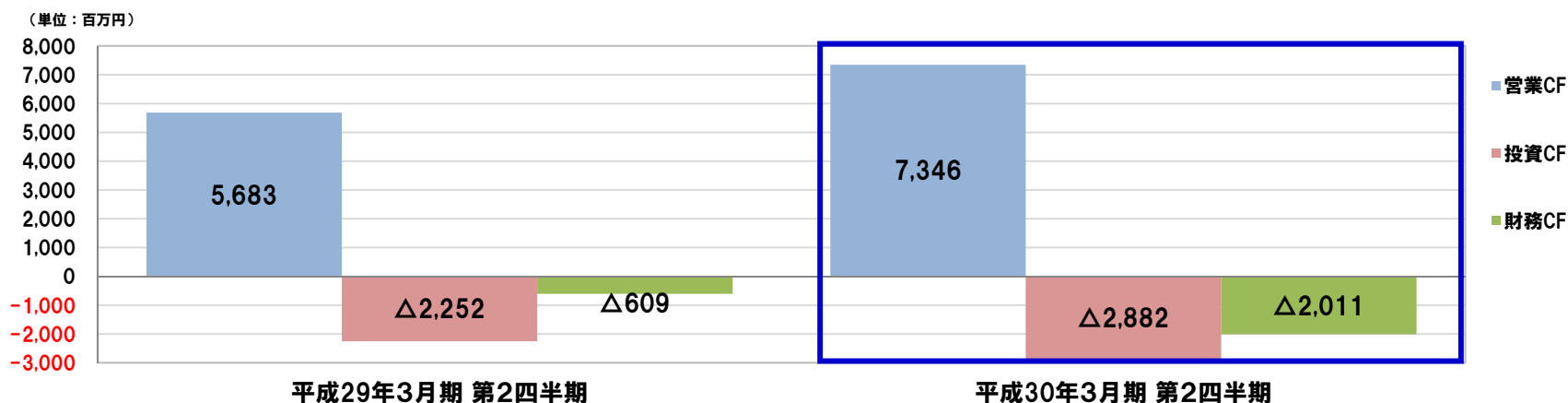
	平成29年3月期末		平成30年3月期 第2四半期末		金額増減	備 考
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>流動資産</b>	38,545	67.2%	44,690	71.6%	+6,145	◆ <b>流動資産</b> 現金及び預金の増加  前期末 当第2四半期末 <b>現金及び預金</b> 21,195 23,647 <b>有価証券</b> 1,202 1,601 計 22,397 25,249  前期末 当第2四半期末 <b>流動比率</b> 451% 350% <b>当座比率</b> 327% 267%
現金及び預金・有価証券	22,397	39.0%	25,249	40.4%	+2,851	
商品及び製品	436	0.8%	2	0.0%	△433	
売上債権	5,501	9.6%	8,794	14.1%	+3,293	
その他	10,210	17.8%	10,643	17.0%	+433	
<b>固定資産</b>	18,824	32.8%	17,744	28.4%	△1,079	
有形固定資産	10,078	17.6%	10,423	16.7%	+344	
その他	8,746	15.2%	7,321	11.7%	△1,424	
<b>資産合計</b>	<b>57,370</b>	<b>100.0%</b>	<b>62,435</b>	<b>100.0%</b>	<b>+5,065</b>	
<b>流動負債</b>	8,538	14.9%	12,758	20.4%	+4,219	
仕入債務	5,811	10.1%	9,449	15.1%	+3,637	
その他	2,727	4.8%	3,309	5.3%	+581	◆ <b>純資産</b> 利益剰余金の増加  前第2四半期 当第2四半期 <b>自己資本比率</b> 79.9% 76.8% (参考)前期末 82.3%
<b>固定負債</b>	1,620	2.8%	1,731	2.8%	+110	
<b>負債合計</b>	<b>10,159</b>	<b>17.7%</b>	<b>14,489</b>	<b>23.2%</b>	<b>+4,329</b>	
<b>純資産合計</b>	<b>47,210</b>	<b>82.3%</b>	<b>47,946</b>	<b>76.8%</b>	<b>+735</b>	

# 決算ハイライト⑥ キャッシュ・フロー計算書



(単位：百万円)

	平成29年3月期 第2四半期	平成30年3月期 第2四半期	平成30年3月期 第2四半期の内訳	
営業活動による キャッシュ・フロー	5,683	7,346	増加要因: 税引前四半期純利益	4,253百万円
			仕入債務の増加	3,783百万円
			減少要因: 売上債権の増加	3,293百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,252	△ 2,882	増加要因: 有形証券の償還	300百万円
			減少要因: 有形固定資産の取得	2,945百万円
フリー キャッシュ・フロー	3,431	4,463	主な要因: 営業キャッシュ・フローの増加	
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 609	△ 2,011	減少要因: 自己株式の取得	1,157百万円
			配当金の支払い	854百万円
現金及び現金同等物の増減額	2,821	2,452		
現金及び現金同等物の期首残高	25,788	20,794		
現金及び現金同等物の期末残高	28,609	23,247		



## 3. 当社の取り組み

## 『変わる挑戦』

ものづくりに対する今までの常識や慣習にとらわれることなく、自らが変化に順応する

### 1. 開発力の強化

#### 「今までになかったものづくり」に対する取り組み

- ①長期稼働の実現
- ②パチンコ・パチスロタイアップ戦略
- ③斬新な演出、アイデアなどの積極的な採用
- ④差別化された商品性の実現

### 2. 利益体質の強化

#### 「損益分岐点台数の低減」に対する取り組み

- ①リユース活動のさらなる推進
- ②トータルのコストコントロールの強化  
(機種開発-部材調達-製造-営業活動)

## 1. 開発力の強化

### 「今までになかったものづくり」に対する取り組み

#### ①長期稼働の実現

上期発売機種 稼働週目標に対する実績

パチンコ遊技機	稼働週目標	パチスロ遊技機	稼働週目標
CR萌え萌え大戦争 ぱちんこぼ〜ん	達成	パチスロ 呪怨	達成
CRクルクルセブン	未達成	パチスロ リング 終焉ノ刻	達成
CRリング 終焉ノ刻	達成	パチスロ 世界でいちばん強くなりたい！	未達成
		パチスロ 地獄少女 宵伽（よいのとき）	稼働継続中

※稼働週目標は社内基準に基づく

#### ②パチンコ・パチスロタイアップ戦略

○「リング」「地獄少女」など、パチンコで実績あるタイトルをパチスロで市場投入

#### ③斬新な演出、アイデアなどの積極的な採用

○パチスロ新筐体で業界初の「風」（ラッキーエア）を利用した大当たり演出など

#### ④差別化された商品性の実現

○パチンコ「サイドユニットシステム」パチスロ「分離筐体システム」の導入など

## 2. 利益体質の強化 「損益分岐点台数の低減」に対する取り組み

### ①リユース活動のさらなる推進

- 新規リユース部品の採用／複数回リユース部品の拡充
- リユース対象機種種の拡充による調達力の強化

### ②トータル的なコストコントロールの強化（機種開発-部材調達-製造-営業）

- 設計段階からのパネル原価低減（機種開発）
- 部品共通化・発注数量の最適化（部材調達）
- パチスロ新生産ライン稼働による効率化（製造）
- 販促ツールのデジタル化によるコスト低減（営業）

## 開発・生産体制のさらなる強化を推進

開発部門フロア



名古屋事業所 西館



パチスロ生産ライン

- 名古屋事業所本館の開発部門フロアを西館へ移設
- 従来と比較して約4倍の生産能力を有するパチスロ生産ラインを新設

# スマートフォンアプリの取り組み

**KADOKAWA協力による完全オリジナルのスマートフォン向けRPG  
『23/7 トゥエンティスリーセブン』「東京ゲームショウ2017」にブース出展**



東京ゲームショウ2017 ブース出展（2017年9月21日～24日）

**多数の来場者の皆様が開発中のゲームを体験  
現在、リリースに向けて鋭意開発中**

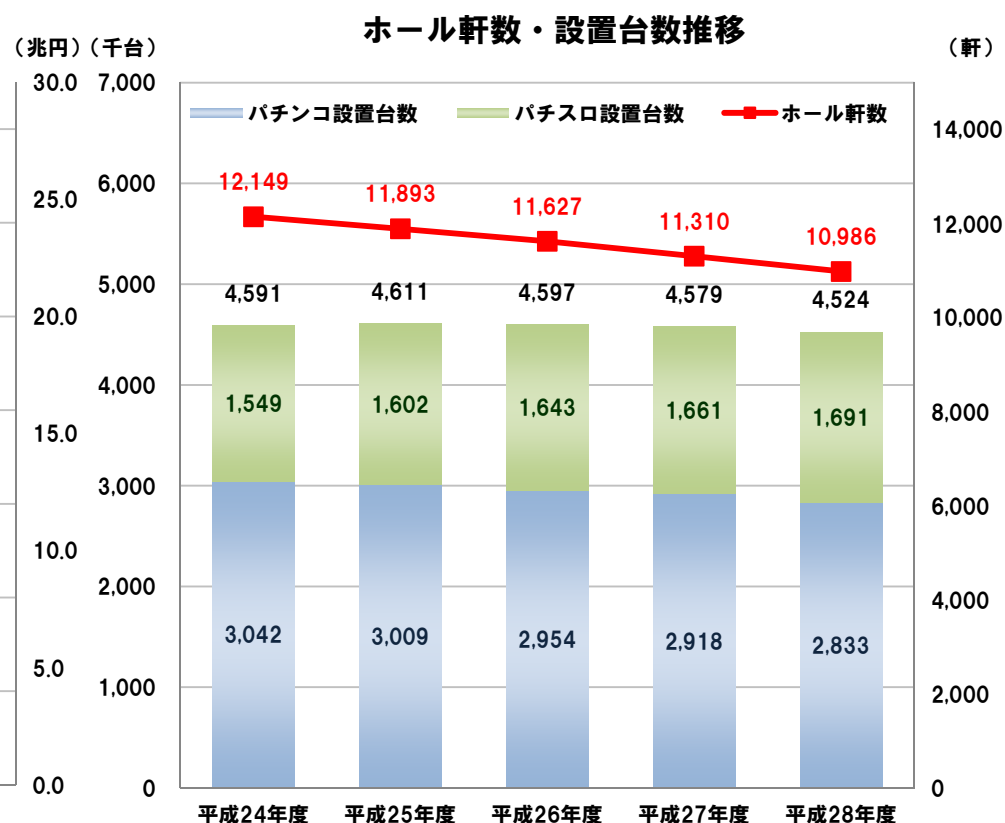
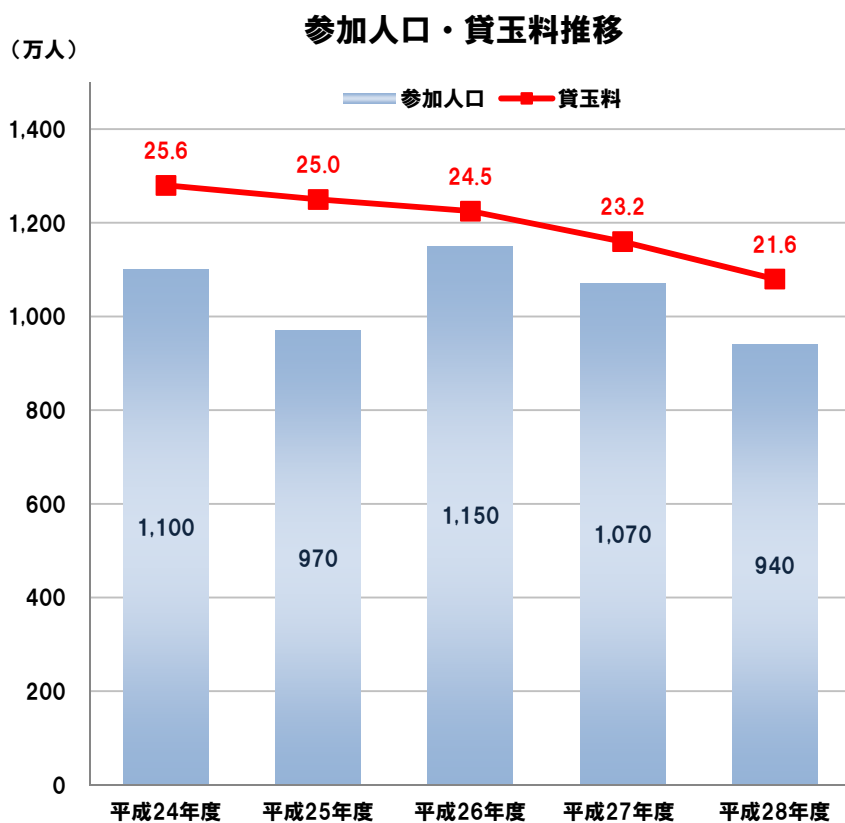
## 4. パチンコ・パチスロ市場の見通し

# パチンコ・パチスロ市場の推移



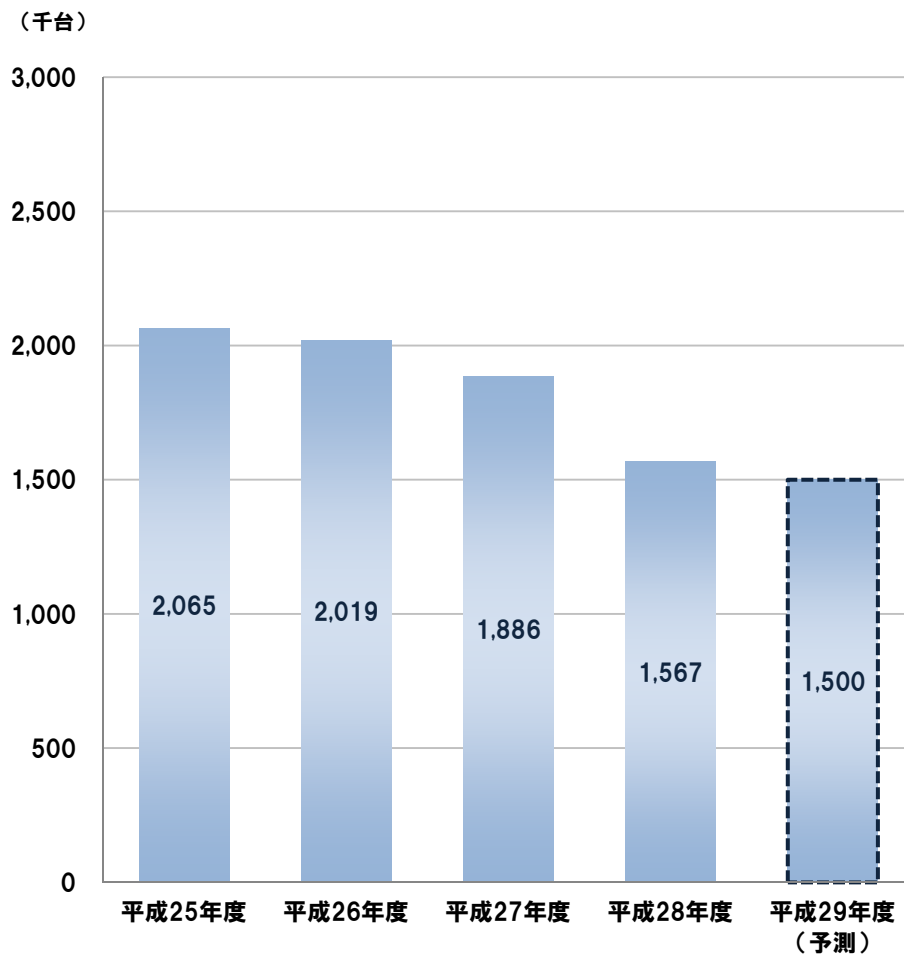
項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
参加人口 (万人)	1,100	970	1,150	1,070	940
賞玉料 (兆円)	25.6	25.0	24.5	23.2	21.6

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
ホール軒数(軒)	12,149	11,893	11,627	11,310	10,986	
設置台数 (千台)	パチンコ	3,042	3,009	2,954	2,918	2,833
	パチスロ	1,549	1,602	1,643	1,661	1,691

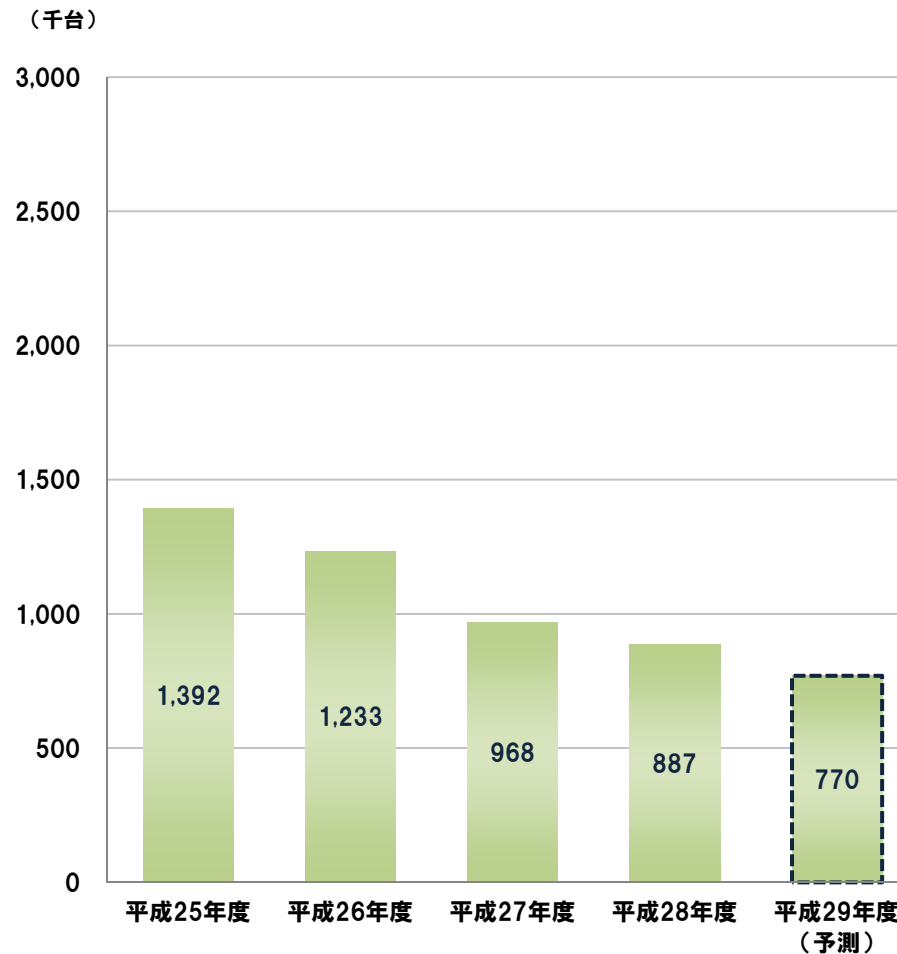


出所：警察庁（ホール軒数・設置台数）・日生産性本部『レジャー白書』（参加人口・賞玉料）

## パチンコ遊技機の世界販売台数



## パチスロ遊技機の世界販売台数



データ出所：株式会社経済研究所「2017年版 パチンコ関連メーカーの動向とマーケットシェア」より平成25年度～28年度の実績値 ※平成29年度は当社推計値・予測値

## ■規則改正のポイント

- |                |  |
|----------------|--|
| ①最大出玉の見直し      | 大当たり1回の最大出玉数が、従来の約3分の2に<br>(パチンコ 2,400個 ⇒ 1,500個 パチスロ 465枚 ⇒ 285枚) |
| ②出玉率試験の見直し     | 出玉率の上限値を引き下げるとともに、新たに下限値を設定  |
| ③パチンコに設定機能を追加  | パチンコに「大当たり確率」の設定が可能に   |
| ④「管理遊技機」の規格を制定 | 「管理遊技機」に関して表示装置の規格などを明記  |

## ■当社の取り組み

- ①現行規則における適合機種の確保（2018年1月末 保通協申請期限）
  - 次期以降の販売ラインナップ構築に向けて、現行規則における適合機種を確保
- ②改正規則に対応したゲーム性の創出
  - 出玉性能に偏重せず、パチンコ・パチスロの遊びやすさを追求  
(パチンコの設定機能を活かしたゲーム性や、独創的な役物の開発など)
  - 手軽に遊べる大衆娯楽として、幅広いファン層に受け入れられるヒット機種を目指す
  - パチスロにおいてもパチンコと同様に、多種多様な遊技機の開発に注力
  - 新規則に対応した遊技機の保通協申請は、2018年2月1日以降の予定

## 5. 平成30年3月期 通期業績計画

# 第3四半期以降の発売予定機種

## パチンコ遊技機



「喰霊 -零-」の世界観に究極までこだわった  
大人気アニメパチンコ

BS11でのアニメ再放送、雑誌広告の展開等、  
積極的なプロモーションを遂行

©2008 瀬川はじめ / [喰霊-零-]製作委員会

**CR喰霊 -零-**  
(平成29年11月上旬発売予定)

# 平成30年3月期 業績計画



■業績予想につきましては、平成29年5月12日発表の業績予想に変更はありません。

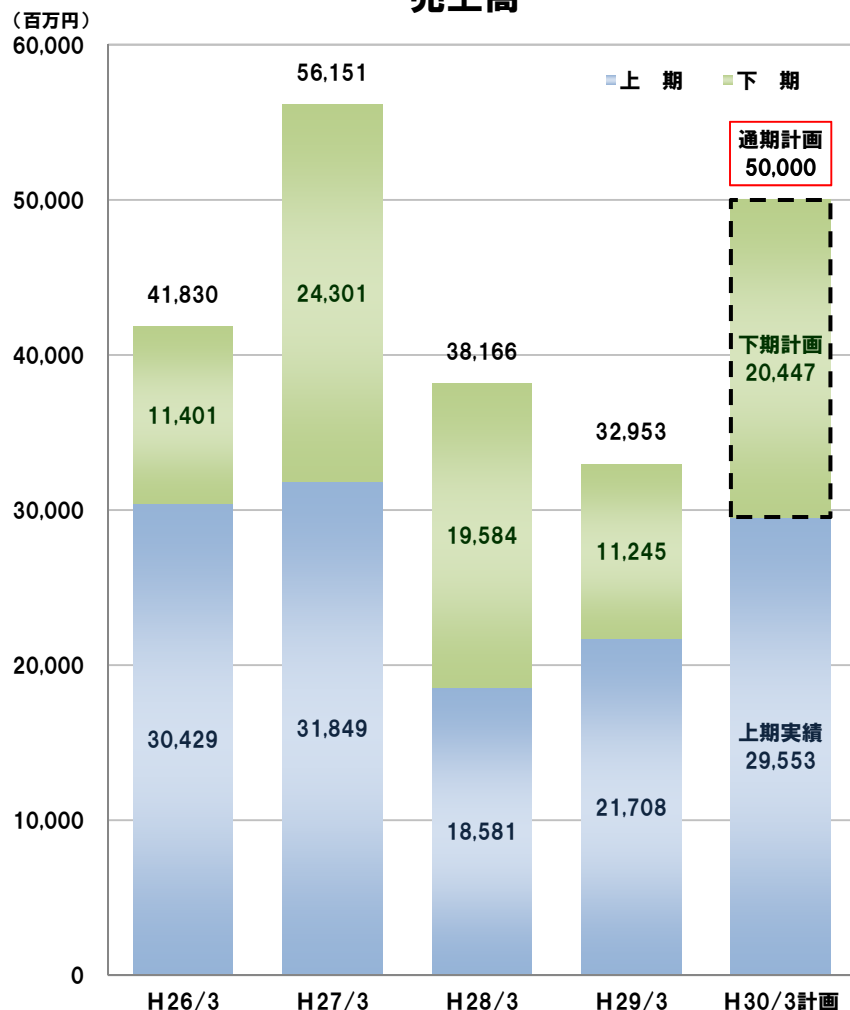
(単位:百万円、販売台数は百台未満切捨て)

	平成29年3月期		平成30年3月期	
	実績	構成比	計画	構成比
パチンコ遊技機	96,600台	98.8%	105,000台	80.8%
パチスロ遊技機	1,200台	1.2%	25,000台	19.2%
計	97,800台	100.0%	130,000台	100.0%
売上高	32,953	33.7%	50,000	100.0%
営業利益	△ 2,271	-2.3%	2,500	5.0%
経常利益	△ 2,280	-2.3%	2,500	5.0%
当期(四半期)純利益	△ 1,944	-2.0%	1,700	3.4%
1株当たり 当期(四半期)純利益	△ 79.71円		69.68円	—
1株当たり配当金	60円 (記念配当10円含む)		50円 (中間・期末 各25円)	配当性向 71.8%

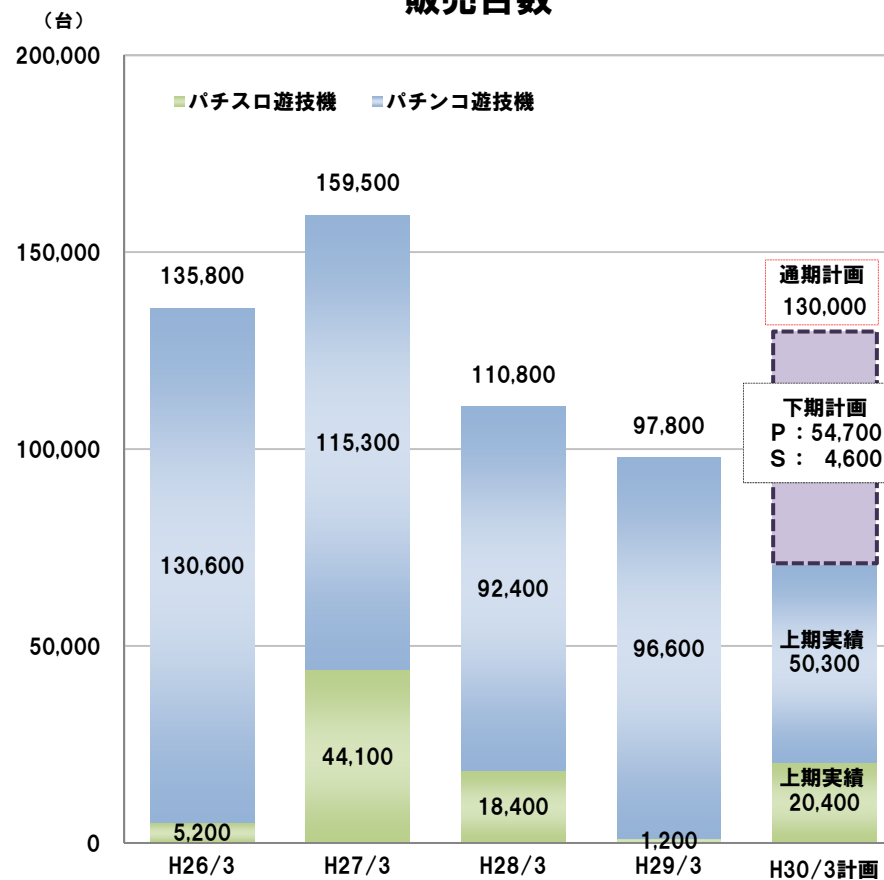
# 業績推移① 売上高・販売台数等



## 売上高



## 販売台数



	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3	H30/3 2Q実績
パチンコ遊技機	7	8	10	8	3
パチスロ遊技機	2	2	2	1	4
投入機種数 計	9	10	12	9	7

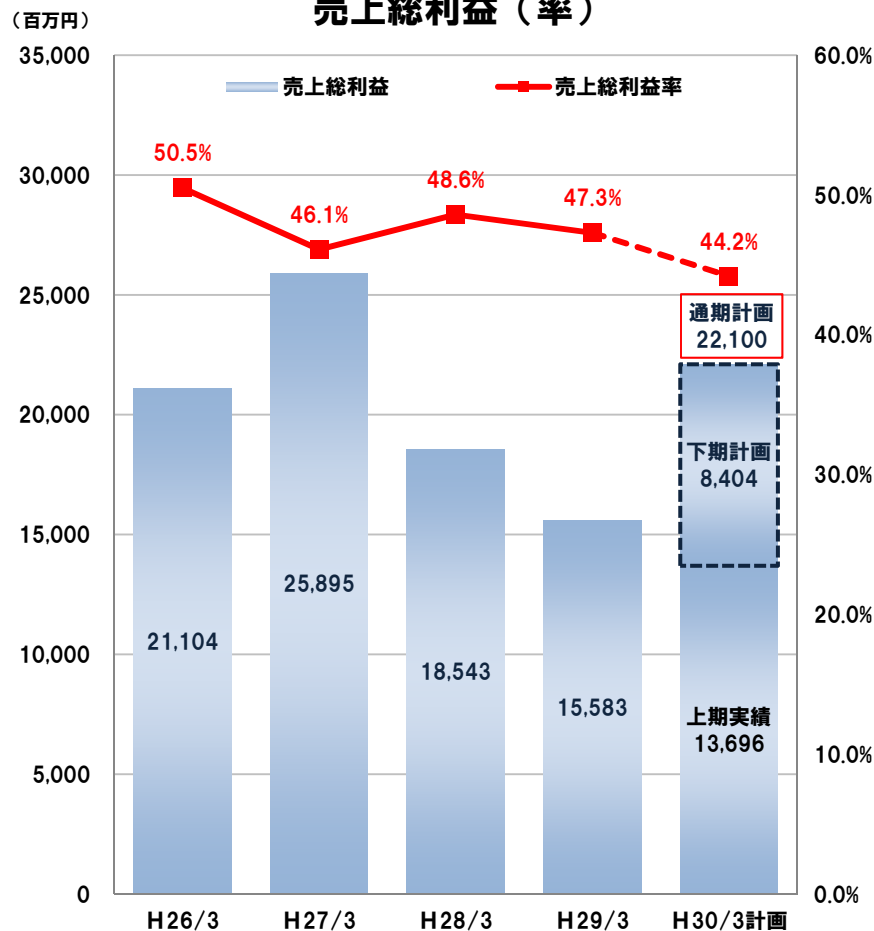
※当社の遊技機事業は販売戦略に基づき、期中を通じて機動的に新機種の投入を行う必要があることから、平成30年3月期より第2四半期累計期間の業績予想および年間投入機種数は開示しておりません。

※投入機種数は、新規タイトル数

# 業績推移② 売上総利益・販管費

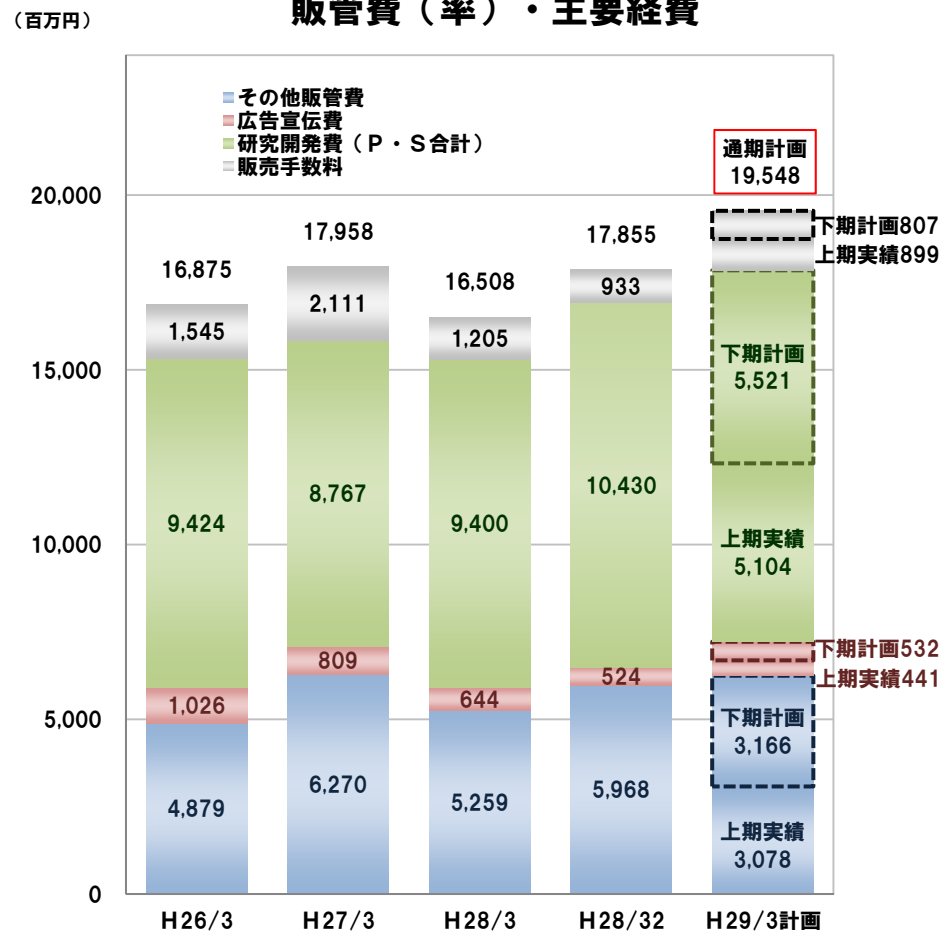


### 売上総利益（率）



人員数	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3	H30/3計画
営業部門	181名	179名	180名	182名	190名
開発部門	159名	175名	189名	200名	208名
その他	86名	91名	89名	86名	90名
全社	426名	445名	458名	468名	488名

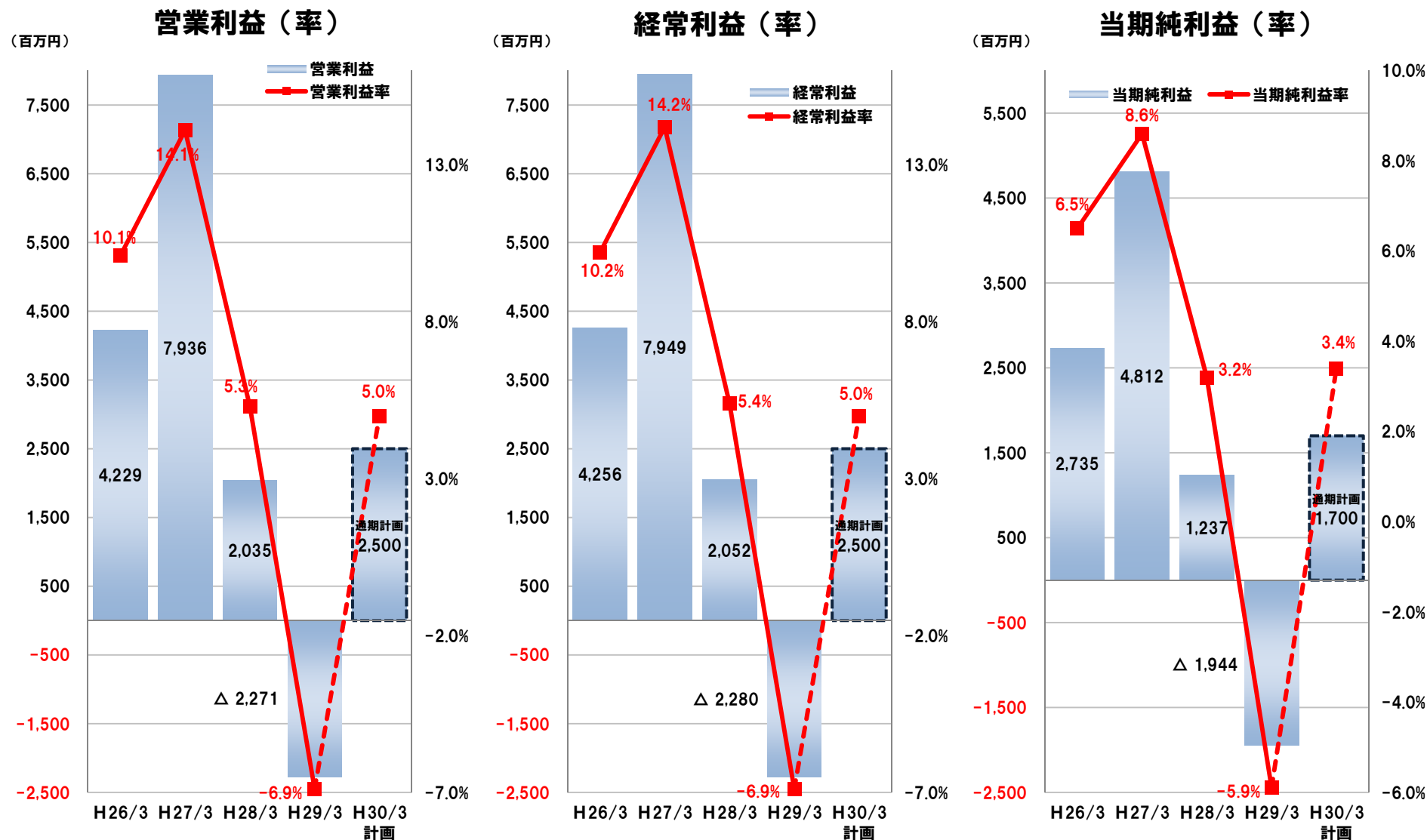
### 販管費（率）・主要経費



	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3	H30/3計画
販管比率	40.3%	32.0%	43.3%	54.2%	39.1%
手数料率	3.7%	3.8%	3.2%	2.8%	3.4%
研究開発費率	22.5%	15.6%	24.6%	31.7%	21.3%
広告宣伝費率	2.5%	1.4%	1.7%	1.5%	1.9%

※各比率は、売上高に対する比率

# 業績推移③ 営業利益・経常利益・当期純利益



## 参考資料



本体外観

社名	株式会社 藤商事
設立	昭和41年10月
代表者名	代表取締役社長 井上 孝司
資本金	32億81百万円（平成29年9月30日現在）
売上高	329億円（平成29年3月期）
従業員数	469名（平成29年9月30日現在）
事業内容	パチンコ遊技機、パチスロ遊技機の 開発・製造・販売



## 当社のコーポレートスローガン

<ヒト味違う発想で一步先の“オモシロさ”を目指して！>

- 「ヒト味」は「人間味」を表しており、パチンコ・パチスロに情熱を持ち続け、可能性のある限り挑戦するモノづくりに取り組む姿勢を表しております。
- このコーポレートスローガンを「ヒト味違う“オモシロ”さ！」と短縮し、企業ロゴに表示しております。
- 企業ロゴの左側には、藤の花とイニシャル（F）をモチーフに、円の集合体を形成しております。これは、人間の持つ個々の特異性が融和されることによって生まれる人と人とのふれあいの大切さを表しております。

# 主な会社沿革



- 1966年10月      **じゃん球遊技機の開発、製造および貸付を目的とし、株式会社藤商事を設立**
- 1973年10月      **アレンジボール遊技機の製造および販売を開始**
- 1989年11月      **パチンコ遊技機事業に参入**  
**パチンコ遊技機の製造および販売を開始**
- 2003年 9月      **パチスロ遊技機事業に参入**  
**パチスロ遊技機の製造および販売を開始**
- 2007年 2月      **ジャスダック証券取引所に上場（2007年11月 J-Stock銘柄に選定）**
- 2010年 4月      **ジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併に伴い、**  
**大阪証券取引所 J A S D A Q 市場に上場**
- 2013年 3月      **サン電子株式会社と資本・業務提携契約を締結**
- 2013年 7月      **東京証券取引所と大阪証券取引所の合併に伴い、**  
**東京証券取引所 J A S D A Q（スタンダード）に上場**
- 2014年 3月      **東京証券取引所 J A S D A Q（スタンダード）にて貸借銘柄に選定**

# 主な発売機種①



1966年



©藤商事

ジャン球遊技機

1987年



©藤商事

アレンジボール  
「シャトル21」

1992年



©藤商事

アレンジボール  
「アレジン」

2003年



©ITC

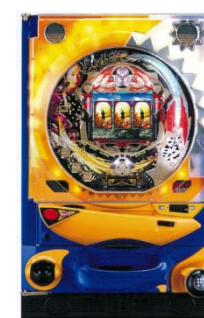
CRサンダーバード2



©ITC

パチスロ  
サンダーバードⅢ

2004年



©東映

CR暴れん坊将軍

2007年



©1998「リング」[らせん]製作委員会

CRリング



©東北新社

CR宇宙戦艦ヤマト



©水木プロ

CRゲゲゲの鬼太郎  
妖怪頂上決戦

2011年



©1998「リング」[らせん]製作委員会

CRリング 呪いの7日間



©地獄少女プロジェクト/スカパーウェルシンク・アニプレックス  
©地獄少女プロジェクト/三鼎製作委員会.co.,Ltd

CR地獄少女

2013年



©東映ビデオ株式会社/「呪怨」製作委員会/  
「呪怨2」製作委員会/株式会社ワンゴコンテンツ

CR呪怨

# 主な発売機種②



2014年



©2011 赤松中学・株式会社KADOKAWA メディアファクトリー刊/東京武蔵高校

CR緋弾のARIA



©1999鈴木光司 発行：株式会社KADOKAWA 角川書店  
©1998「リング」「らせん」製作委員会

CRリング 運命の日



©1998「リング」「らせん」製作委員会

パチスロリング  
呪いの7日間



©東映

CR暴れん坊将軍 怪談



©地獄少女プロジェクト/三鼎製作委員会

CR地獄少女 弐(ツー)

2016年



©東映

CR遠山の金さん  
二人の遠山桜



©2002仄暗い水の底から製作委員会

CR仄暗い水の底から



©2008-2012 赤松中学 ©2011 赤松中学・株式会社 KADOKAWA メディアファクトリー刊/東京武蔵高校

CR緋弾のARIA II



©1999 鈴木光司 発行：株式会社KADOKAWA 角川書店  
©1998「リング」「らせん」製作委員会  
©1999「リング2」製作委員会

CRリング 終焉ノ刻



©1998「リング」「らせん」製作委員会

パチスロ リング 終焉ノ刻

2017年

# 地域展開の状況



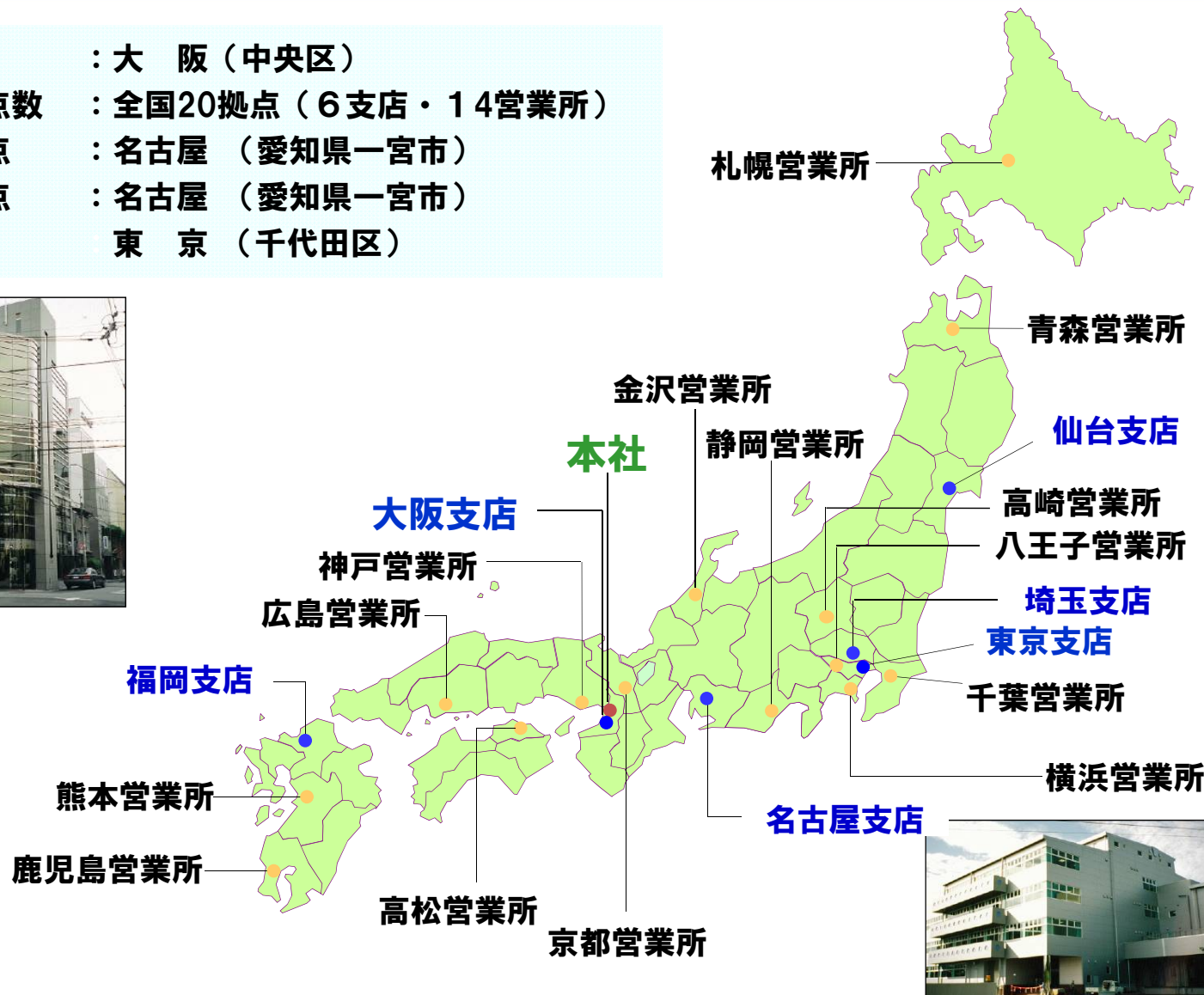
**本社** : 大 阪 (中央区)  
**営業拠点数** : 全国20拠点 (6支店・14営業所)  
**製造拠点** : 名古屋 (愛知県一宮市)  
**開発拠点** : 名古屋 (愛知県一宮市)  
東 京 (千代田区)



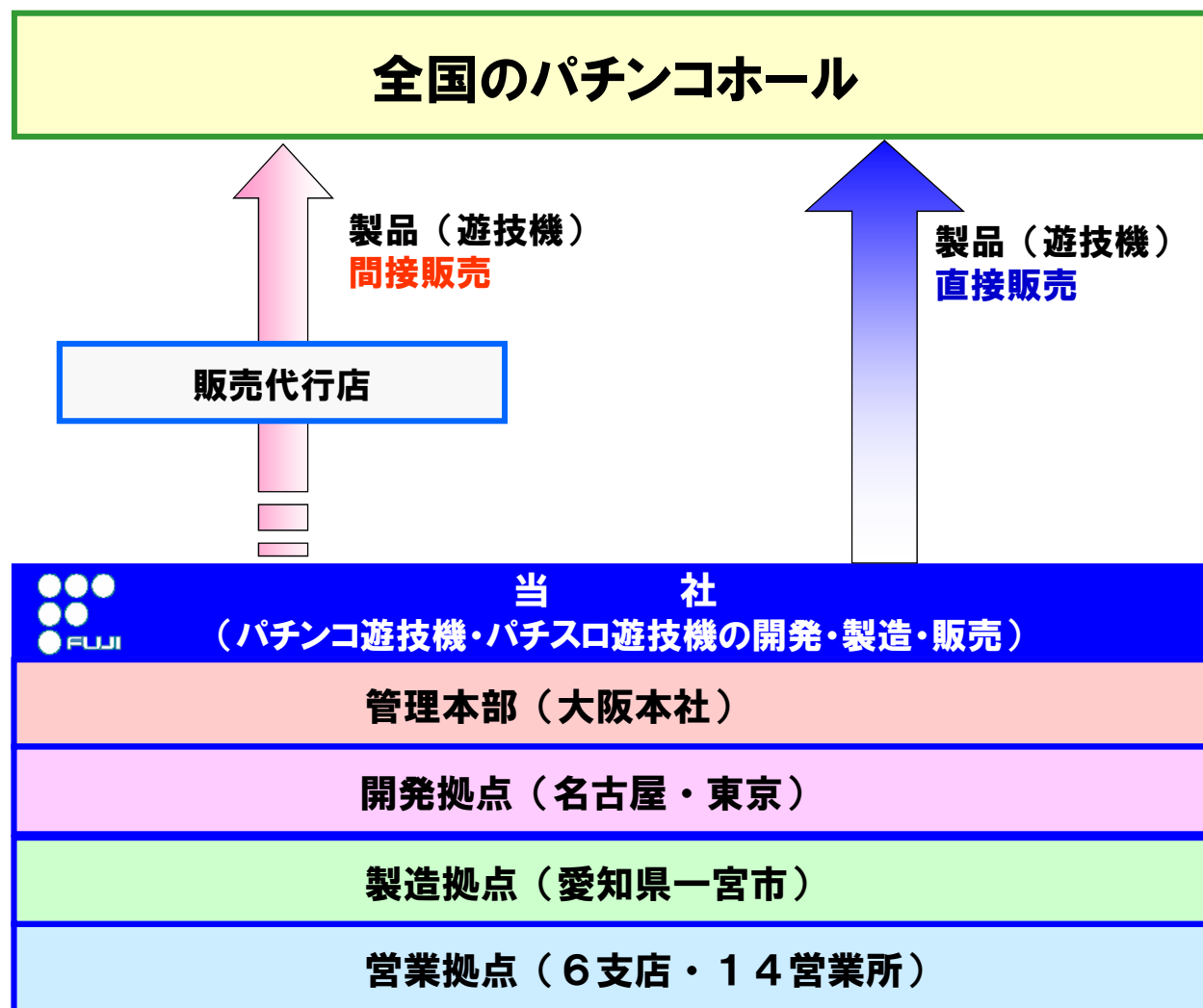
大阪支店



東京支店



名古屋事業所



(株) J F J (非連結子会社) (株) サンタエンタテイメント (持分法非適用関連会社)

## 本体販売とパネル販売



©1999 鈴木光司 発行:株式会社KADOKAWA 角川書店  
©1998「リング」[らせん]製作委員会  
©1999「リング2」製作委員会

### 本体販売

外枠(本体)は一度購入すれば以後の機種では、盤面(パネル)とサイドユニットの入替を行うことにより、継続して使用可能です。  
本体枠をモデルチェンジした最初の機種は、すべて枠付きの本体販売となります。

サイドユニット(専用または汎用)

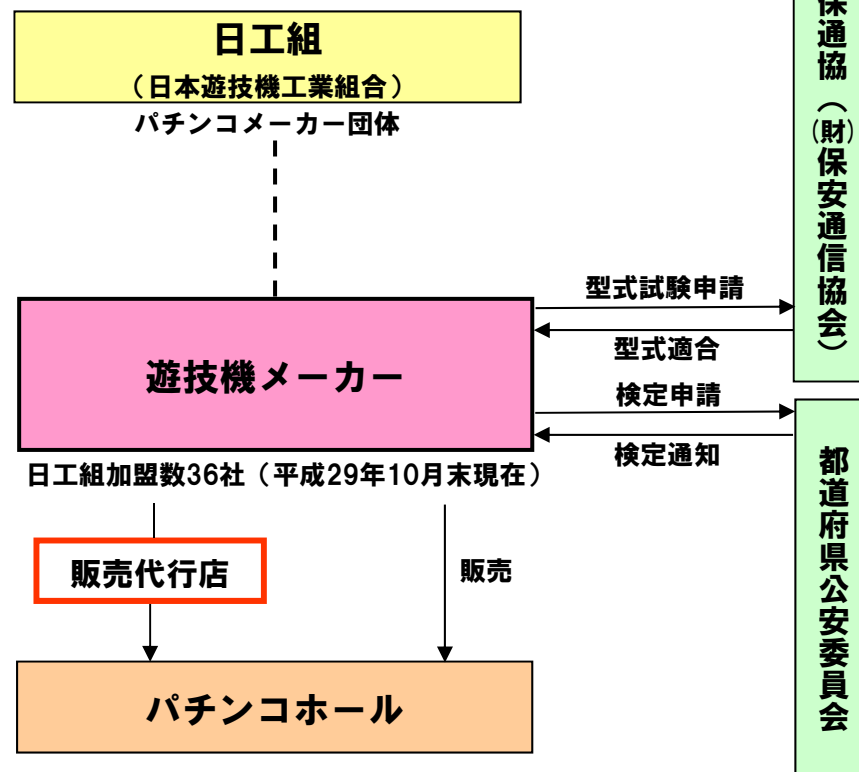


### 盤面(パネル)

パネル販売では盤面のほか、サイドユニット(機種専用または汎用)が付属します

### パネル販売

## 業界関係図



## ■ お問い合わせ先

**株式会社 藤商事 経営企画本部 広報・IR 室**

TEL:06-6949-0323 FAX:06-6949-3174

- 本資料は、当社の事業内容等をご説明するために、現時点で入手できる情報に基づき作成したものです。本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害・問題等に関しては、当社は一切責任を負うものではありませんので、ご了承下さい。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、遊技機の型式試験の適合状況をはじめ、様々な要因により大きく異なる可能性があります。投資を行う際には、投資家ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。